

課題整理総括表

利用者名 A様

作成日

R 7 / 2 / 13

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	①右半身麻痺で歩行、移動、またぎ、 更衣に介助、構音障害がある	②家族以外と関わりが少ない	③内服薬は忘れることがある
	④食事でむせたり、言葉が出にくい	⑤物忘れがあり、会話がかみ合わない	⑥夫はリウマチで介護に不安がある

利用者及び家族の 生活に対する意向	本人:少しでも体を治して家事をしながら、家族と外sh津出来るようになりたい。自分の好きなものを家族と一緒においしく食べられたら嬉しいです。夫:しっかり身体を動かして元気になって欲しい。 長女:少しでも調理を手伝ってもらえたら安心です。家族と一緒に外食ができるようになりたい。
----------------------	--

状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	リハビリでは短下肢装具と歩行器で見守り歩行をしている。玄関前の段差及び玄関の上がり框は一部介助により可能であるが不安定。
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助	①	改善 維持 悪化	
食事	食事内容	支障なし 支障あり	④	改善 維持 悪化	食事は3食摂取できている。摂取時は左手にて自力摂取できるが、時折咽がみられる。 食事形態は、主食は全粥、副食は一口大、水分量とろみを薄くつけている。茶碗はどうか持てるが、どんぶり鉢や皿は持つことができない。失禁を気にして水分を取らない傾向にあるため促しが必要水分摂取量は600-800ml(入院中は1000ml以上の飲水を促している)煮物、刺身が好物。塩分を気にしたことがない。間食は多かった。
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助	①④	改善 維持 悪化	
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助	①⑤	改善 維持 悪化	
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり	①	改善 維持 悪化	尿意はあるが、まれに間に合わないことがあり失禁。入院してから便秘気味(1回/3-4日)で下剤を屯用で内服。日中はトイレまで車椅子で誘導され、介助で排泄し、夜間はポータブルトイレで対応。ズボンの上げ下げには介助が行われている。
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助	①⑤	改善 維持 悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり	①	改善 維持 悪化	自前で現在は車椅子で洗面、椅子があれば自力で可能。歯磨き、麻痺側に食物残渣があるので、声掛けと確認が必要。退院前訪問では自宅の洗面台、蛇口等の問題はない。
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助	①④	改善 維持 悪化	
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助	①③⑤	改善 維持 悪化	内服は忘れることがあるため、都度介護者が手渡し、毎回確認が行われている。
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑥	改善 維持 悪化	浴室内の立ち上がりは困難。入浴は、浴槽のまたぎが困難で本人の不安も強く病院ではシャワー浴。洗身は介護を受けている。
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑥	改善 維持 悪化	更衣は上衣に介助、声掛けにて協力動作はある。ボタンはゆっくり自力で出来る。ズボンや靴下は椅子に座ってゆっくりと自分でできるが、乱れもあり窮乏に介助。
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑥	改善 維持 悪化	以前は自分で行っていた。
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑥	改善 維持 悪化	以前は自分で行っていた。
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑤⑥	改善 維持 悪化	以前は自分で行っていた。
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助	⑤⑥	改善 維持 悪化	自身で行っていた。
買物		自立 見守り 一部介助 全介助	①⑤⑥	改善 維持 悪化	以前は自分で行っていた。夫や娘たちと一緒に出掛けた。
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり	①④⑤	改善 維持 悪化	多少の難聴があり、中等度の失語症がある。
認知		支障なし 支障あり	①④⑤	改善 維持 悪化	前日面会に来た際の衣類の持参を忘れていたり、家族への同様の繰り返しが見られている。
社会との関わり		支障なし 支障あり	①②⑤	改善 維持 悪化	入院中は近所の人との交流もない。近所の人とは挨拶を交わす程度だったが、自治会の仕事はしていた。退院後は家族と一緒に外出したい気持ちがある。
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化	
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり	⑥	改善 維持 悪化	夫はリウマチで手足の指、膝等のこわばりがある。長女と次女は入院中も両親の世話をしている。二人とも公務員で頻繁にはほうもんが出来ないわけではない。長女と次女の子供は大学瀬戸高校生であり休みの意に遊びに来る。長男次男は遠方に住むが、正月や盆、夏休み当を利用して家族皆で集まる。
居住環境		支障なし 支障あり	①	改善 維持 悪化	持ち家。玄関上がり框に30cmの段差。玄関前、玄関、廊下、浴室、トイレに手すりなし。

見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。  
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。  
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。  
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることにより見込まれる事後の状況(目標)を記載する。  
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。